

# 釜石労働基準監督署からのお知らせ

平成26年  
3月

「心と体の健康なくして安全なし！」

## 1 建設業の労働災害防止を本気で考えましょう！

建設業の労働災害は全国的には減少していますが、岩手県内では前年比15.3%の増加、釜石監督管内では33.3%（1月末現在）となっており、昨年9月と今年1月に車両系建設機械に関する死亡災害が発生しています。現場の安全対策が十分か、不安全行動が見過ごされていないか、今一度点検しましょう。

釜石市・大槌町では、復興関連の工事量増加により、資材や人材不足が深刻な状況となっている状況ではありますが、一たび労働災害が発生しますと、被災者とその家族の生活は一変し非常に苦しく辛い思いをされます。また同僚や企業にとっても影響は大きく、周囲の人達全てが不幸になるものです。震災復興という特殊事情だからこそ、これまでの知識・経験を生かした万全の対策が必要となります。

各企業・現場では様々な労働災害防止対策に取り組んでいますが、決められたルールが確実に守られ、安全に作業が行われるよう、安全教育、安全巡視、リスクアセスメントなど積極的に取り組みましょう。

## 2 メンタルヘルス対策に取り組みましょう！

今あなたは疲れていませんか？ 企業では健康対策に取り組んでいますか？ 働く全ての人が「健康であること」の大切さは既にご周知のとおりです。メンタル不調者の増加が指摘されており、もはやメンタル不調は個人の問題ではなく、企業として取り組まなければならない重要課題です。2020年までに「メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合を100%にする」ことが閣議決定され、様々な支援活動が行なわれています。

「心の健康づくり計画の策定」「メンタルヘルス推進担当者の選任」「ストレスチェック」「疲労蓄積度チェック」「管理監督者教育」「全社員に対するメンタルヘルス教育」「職場復帰支援プログラムの策定」「パワハラ・セクハラ対策」などの取り組みを進め、「心と体の健康」を維持しましょう。

## 3 3月は「自殺対策強化月間」です。

自殺総合対策大綱（平成24年8月28日閣議決定）において、3月を「自殺総合対策強化月間」に設定し、援助を求めるといった悩みを抱えた人が必要な支援を受けられるよう、支援策を重点的に実施することとされています。相談先があります。一人で悩まず誰かと話してみませんか。

全国一斉こころの健康相談統一ダイヤル おこなおう まもろう こころ 0570-064-556（おこなおう まもろう こころ）

全国一斉実施期間：3月3日（月）～3月9日（日） ※内閣府HPをご覧ください

よりそいホットライン：24時間対応0120-279-338（フリーダイヤル つながり ささえる つなぐ ささえる）

岩手・宮城・福島から：0120-279-226（フリーダイヤル つながり つつむ つなぐ つつむ）

## 4 労働災害発生事例と災害防止のポイント

[平成25年分 平成26年2月27日現在]

休業4日以上労働災害 103件 [平成24年(確定) 119件]

うち 復旧・復興工事にかかる災害 15件

死亡 1件

≪災害事例≫

平成26年に入り、現在までに岩手県内ではすでに8件の死亡労働災害が発生しています。その半数の4件が交通事故によるものです。（岩手労働局のHPで発生状況等がわかります。）

≪災害防止のポイント≫

沿岸部はだいぶ暖かくなってきましたが、早朝、夜間の路面凍結の可能性はあり、交通量も多い状態です。交通労働災害の防止には、事業場において、移動経路の危険箇所の把握、適切な速度での運転、適度な休憩実施が確実に実施されているかの確認を行う必要があります。